

## たくさん使ってください

### 津谷川小児童会が色鉛筆を寄贈

津谷川小学校(熊谷正校長・児童35人)と津谷川小学校PTA(芳賀義明会長)は3月14日、孝養ハイツに大人の塗り絵と色鉛筆を寄贈しました。

物の大切さを学ぶ一環として資源回収を行っている同校。平成12年から毎年、その収益金と報奨金の一部で同施設へ寄付を続けています。

代表で訪れた芳賀大和君(前児童会長)と熊谷遼太君(前児童会議長)は、「廃品回収は疲れたけれど気持ち良く、益金を役立てることができてうれしい。たくさん使ってください」と話していました。入所者は、思わぬプレゼントをニッコリしながら受け取っていました。



施設を訪れた児童と入所者の皆さん

## 地域みんなで見守ります

### 交通安全祈り「愛の鈴」寄贈

川崎町内の新入学児童33人の交通安全を祈り、鴨地婦人部(三浦祥子部長)役員は3月15日、川崎支所を訪れ、可愛い赤いイチゴの手作りマスコット「愛の鈴」を千葉地域自治区長に手渡しました。マスコットは5号ほどの大きさで、地元諏訪神社のお守りが真綿で包んで納められています。同婦人部は昭和55年から毎年、町内の新入学児童へ愛の鈴を贈り続けています。

三浦部長は「だんだん児童数が減っていますが、子どもたちには元気に通学してほしい」と語り、千葉地域自治区長も「地域みんなで見守っているよ、という気持ちがあります」と目を細めました。



「ランドセルに着けて」と寄贈されたマスコット



歩行者天国の通りで目当ての品を求める人たち

## にぎわう春の風物詩

### 好天に恵まれた花泉互市

本格的な春の訪れを告げる花泉の風物詩、春の互市は4月1日から3日まで、開かれました。期間中は好天に恵まれ、会場の花泉駅前中央通り歩行者天国は、連日大勢の人でにぎわいました。

春を告げる花や植木、職人技の竹細工、木工、金物、子どもたちに人気の玩具、懐かしいわたあめなどの露店約100店が立ち並び、値引き交渉も互市ならではの風景。農作業の季節を迎え、「野菜苗は毎年互市で買います」と話す夫婦は、ジャガイモ、ネギの苗など買い求めていました。花泉互市は藩政時代、日常生活品を物々交換した市が由来で、毎年春と秋に催されています。



氷上長靴運動会で奮闘する参加者

## 氷上長靴レースで悪戦苦闘

### 千厩アイスアリーナ今期終了

千厩アイスアリーナの今期ファイナルイベントは3月25日行われ、氷上長靴運動会や人力車レースなど4種目に約120人が参加しました。思い通りに走れない氷の上で、転倒や珍プレーが続出。悪条件の中、好タイムを出すチームに歓声上がるなど、見物客と参加者が一緒になってゲームを楽しんでいました。

午後からは施設が無料開放され、幼児からお年寄りまで幅広い年齢層の愛好者が、シーズン終了を惜しむように氷の感触を確かめながら滑り納めを楽しんでいました。3カ月間の利用者は、約1万1000人を数えました。



馬との触れ合いは心が和みます

## 自然の中で馬とのふれあい

### 乗馬体験学習はじまる

室根高原ふれあい牧場の乗馬体験学習は4月15日、始まりました。屋内外両方の馬場を備え、天候に影響されことなく誰でも気軽に乗馬が体験できる同牧場には現在、サラブレッド3頭、ポニー2頭がいて、昨年は約1800人が乗馬を体験しました。

管理する室根総合開発(株)では、「馬との触れ合いを通じて、心を癒してみたい」と利用を呼びかけています。4月22日には室根山の山開きも行われ、室根高原の緑も芽吹き始めました。皆さんも動物たちとの触れ合いを通じて大自然を満喫してみたいはいかがでしょうか。

## 出店などで春の訪れを満喫

### いわい川チェリーロードまつり

いわい川チェリーロードまつり(信金本店大通り振興会主催、青葉商工振興会・中央町商店会共催)は4月15日、磐井川河川公園で催されました。桜の開花時期に花見客でにぎわう同公園を会場に、商店街の活性化を図ろうと昨年復活し2回目となるまつりには、親子連れなど多くの方が訪れ、にぎわいを見せていました。堤防の桜もようやく咲き始めたものの、この日は少々肌寒く小雨がぱらつくあいにくの天候。それでも立ち並んだ食べ物や植木、花苗、おもちゃなどの露店から元気のいい掛け声が響き渡り、一関学院高吹奏楽部によるミニコンサートやジャンボ輪投げ大会などの楽しいイベントも行われて、訪れた人たちは春の一日を楽しんでいました。



軽やかな一関学院高吹奏楽部の演奏に聴き入る来場者たち



しっかり手を上げ しっかり横断

## 自分の命、自分で守ろう

### 田河津小で春の交通安全教室

田河津小学校(相馬ゆみ子校長・児童63人)の春の交通安全教室は4月11日、校庭と周辺道路を利用して行われました。

教室は全校生徒が参加し、田河津駐在所武藤所長と地域の交通安全指導員4人が指導。低学年は校庭内に作られた交差点で横断歩道を渡る練習をした後、実際に周辺道路を歩行し、高学年は自転車の乗り方を練習しました。

始めは少し緊張の面持ちだった新1年生も、上級生のお兄さんお姉さんと一緒に元気に手を上げ、横断歩道の渡り方を練習していました。